

三つの力の大切さ

伊勢原市立山王中学校

一年

北村 きたむら

紗都 さと

私が小学六年生の時の元日に能登半島地震が起きました。私の小学校では自分が入っていた保健委員会でよく募金活動をしてきました。ある日同じ委員会の友人が私に「能登半島地震募金しよう。」と声をかけてくれました。私は毎年決まった募金を呼びかける事が保健委員会の仕事だと思っていたけれど、今

一番困っている事やしなければいけない事を提案してくれた友人が凄いなと思いました。その時私が一番に感じた事は判断力、行動力、発言力です。必要な事、何か実行したい事、提案したい事などこの三つの力を踏まえて考えた意見や言葉を誰かにすぐ話せたり凄いなんだけど、時には勇気が入り、恥ずかしいこともあります。しかし、三つの力を心がけ、生活に取り入れることで後悔する事、損してしまいう事は少なくなると思います。いきな

りこのような力を意識しても難しいだけで、私も誰かにすぐ言い出せることは全く無かったです。なので普段何気なくしている一話しかけに行くことも私は頑張っています。勇気がいる場面も沢山ありますが、まず始めに話しかけなければ何も始まらないことに気づいたので、これを意識して生活を送ろうと思いました。話しかけに行くことは三つの力の発言力に繋がります。発言力は人同士でしかできないことなので、相手の気持ちや分が

たり、協力したり、助け合うことができます。テレビで避難生活のニュースを見た時、そこで生活している人達が声を掛け合ってお互いに支え合いながら生活していました。とても積極的な態度で管理が徹底されているなと思いました。私は避難生活をした事がありません。新潟の親戚が能登半島地震の時に避難所に行く事になりました。ペットを飼っているのと一緒に避難所に連れて行ったら、ペットを飼っている人と飼っていない人で部屋

が分かれていて、迷惑をかけずに生活できる
と思います。そうです。私も犬を飼っているの
で、もし避難所に行くとなったら、たとえ部屋が
分かれていても凄く騒がしうだし、ペット
も急に違う環境になって過ごしにくいと思っ
たので、避難生活は難かしいと思いました。
ただ、多くの人が不安の状態の中だけど、助
け合い、工夫しながら生活するのは辛い中で
も思いやりを大切に生活する人達が凄いなと思
います。

話は変わりますが、今年はおリンピックが
開催されていました。テレビで見ている時、
パラリンピックの事を思い出しました。パラ
リンピックは障害を持っている人が行う大会
だけど、調べてみると人それぞれ夢や目標が
ありました。その一人の小田凱人選手は昔は
サッカーを続けていましたが、九歳の時に左
足の骨に骨肉腫が見つかり、車椅子生活にな
りました。闘病生活を送っている中、勇気と
目標を与えてくれたのが元プロ車椅子テニス

選手の国技偵吾選手です。凱人選手と同じように病氣や怪我との苦しく辛い時があったらしいですが、オレは最強だ。と自身を奮い立たせてきたそうです。夢や目標を叶えるという事は途中挫折しそうになったり、絶望する時も少なくないと思います。でも二人のよくな選手は諦めずに全力で頑張ったので夢が実現できたのだと思うし、判断力と行動力のコントロールが凄いいと思いました。なので、障害を持っている人や困っている人などを助けて、サポートできるように日頃から常にいろいろな角度にアンテナを張るような感じで意識して行きたいです。

私達は障害を持っている人がやりたい事ができるように環境を整え、社会に参加できるように手助けする事が大切だと思います。私もいつ何があるかわからないから今を大事にする為にも三つの力は欠かせないもので生活、友達関係、夢や目標を不安なく安全に送れるように視野を広げて行きたいと思います。